

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/06/12号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## サウジ減産で一時急伸も、需要不安が上値圧迫

NY原油先物相場は、1バレル=75.06ドルまで急伸して5月2日以来の高値を更新した後、70ドル台まで下落する展開になった。6月4日の石油輸出国機構（OPEC）プラス会合では、現行の減産体制を今年末から来年末まで延長することが決まった。また、サウジアラビアが7月に日量100万バレルの減産を実施すると発表した。これを受けて需給ひっ迫リスクの織り込みから、75ドルの節目を上抜いた。しかし、その後は改めて需要不安の織り込みを進める動きが強まり、前週比では逆にマイナス圏に沈んだ。

中国の5月貿易収支は、輸出が前年比7.5%減（前月は8.5%増）、輸入が4.5%減（7.9%減）となった。輸出の想定外の大幅な落ち込みは、世界経済の減速が想定よりも早いペースで進展しているリスクを警戒させている。中国の5月原油輸入量は前年同月比12.24%増と決して悪くなく、寧ろ堅調と言える。しかし、マーケットの関心は現実の石油需要よりも、中国のマクロ経済指標に集中しており、戻りを売られる展開になった。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（6月2日時点）は、原油が前週比45万バレル減、ガソリンが275万バレル増、石油精製品が507万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 値ごろ感が強いがボックス相場か、中国マクロ指標に注目

OPECプラスの減産延長、サウジアラビアの追加減産発表を受けての買い圧力が一時的なものに留まったことで、依然として先高感は乏しいことが確認されている。需給ひっ迫見通しの下値サポートが続く一方、需要不安の上値圧迫も続き、70～75ドル水準をコアとした展開が続く可能性が高い。サウジアラビアの追加減産発表を受けて、年後半の需給ひっ迫リスクは間違いなく強くなっており、70ドル水準では押し目買いが入ろう。一方で、需要環境に対する不信感を払しょくしていくためには時間が必要であり、75ドル水準では上値の重さを再確認する可能性が高い。

6月13日にOPEC、14日に国際エネルギー機関（IEA）がそれぞれ最新の月報を公表する。需要見通しの下方修正が行われると、失望売りが膨らむリスクが高まる。一方、需要見通しが据え置かれ、年後半の需給ひっ迫リスクを強調する動きがみられると、買い安心感が強まろう。

6月15日に中国の5月鉱工業生産、5月小売売上高などが発表される。マーケットでは中国のマクロ経済指標に対する関心が強いいため、5月貿易収支に続いて低調な数値が発表されると、改めて需要不安の織り込みが上値を圧迫しよう。

年後半の需給ひっ迫見通しで買われ、需要不安で売られる展開が繰り返され易い。現行価格は物色妙味が大きいが、本格的な上昇トレンドに発展していく兆候は乏しい。

6月13～14日には米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。新規売買材料が乏しいだけに、ドルや株式相場の反応も注目されよう。

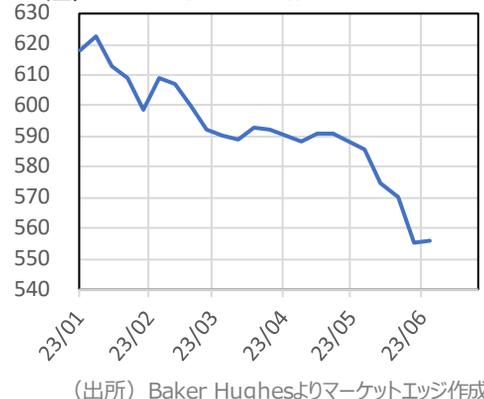
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

